

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名：クエン酸リチウム(4水和物)

会社名：キシダ化学株式会社

住所：兵庫県三田市テクノパ-ク14番10

担当部門：三田事業所

電話番号：(0795) 68-1531 FAX番号：(0795) 68-1586

### 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品

化学名：クエン酸リチウム(4水和物)

別名：クエン酸三リチウム

成分及び含有量：98%(MIN)

化学特性： $\text{Li}_3\text{C}_6\text{H}_5\text{O}_7 \cdot 4\text{H}_2\text{O}$

官報公示整理番号(化審法・安衛法)：2-1323

CAS NO.：6080-58-6

危険有害成分：特に無し。

化学物質管理促進法：対象外。

労働安全衛生法(通知対象物質)：対象外。

毒物劇物取締法：対象外。

### 3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性：通常の取扱いでは、有害性は低いと予測される。

環境影響：生分解性は良いと考えられる。蓄積性は無い又は低いと考えられる。

物理的及び化学的危険性：通常取扱いでは火災の危険性は極めて低い。

特定の危険有害性：特に無し。

分類の名称：分類基準に該当しない。

#### 4. 応急措置

吸入した場合：新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。石鹼を使ってよく落とす。外観に変化がみられたり、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける手配をする。

目に入った場合：清浄な水で最低15分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受けること。洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。

飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗ったり、コップ1～2杯の水又は牛乳を与えて胃内を薄めても良い。可能であれば、指を喉に差し込んで吐き出させ、直ちに医療措置を受ける手配をする。

#### 5. 火災時の措置

消火剤：水噴霧、粉末消火薬剤

特定の消火方法：消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

消火を行う者の保護：消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。

環境に対する注意事項：漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

除去方法：飛散した物を掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

暴露防止：取扱いは、換気の良い場所で行う。

取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

取扱いの都度、容器を密栓する。

保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、嗽をする。

火災・爆発の防止：周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

注意事項：取扱う場合は、局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で取扱う。

安全取扱い注意事項：一般の薬品取扱い注意を守る。

## 保管

技術的対策：直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。

吸湿性があるので、密栓した容器に保管する。

混触禁止物質：強酸化性物質

保管条件：強酸化性物質、火源の近くに保管しない。

安全な容器包装材料：吸湿性を有するため、密閉した容器に保存し、直射日光を避ける。

## 8. 暴露防止措置

設備対策：取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。

取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

## 保護具

呼吸器用の保護具：防塵マスク、簡易防塵マスク

手の保護具：保護手袋

目の保護具：保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具：保護服、保護長靴、保護前掛け

## 9. 物理的及び化学的性質

## 物理的状態

形状：結晶及び結晶性粉末

色：無色～白色

臭い：無し。

pH：8.5 (50 g/L、水、25 )

物理的状態が変化する特定の温度 / 温度範囲

融点：112

分解温度：112

密度：420 Kg/m<sup>3</sup>

溶解性：溶媒に対する溶解性 水 745 g/L (20 ) , 667 g/L (100 )  
エタノール、エーテルに僅かに可溶。

## 10. 安定性及び反応性

安定性：通常の手扱い条件において安定である。

反応性：特に無し。

避けるべき条件：強酸化性物質との接触。

危険有害な分解成生物：特に無し。

## 11. 有害性情報

急性毒性：データ無し。

局所効果：眼、皮膚に対し刺激性あり。

## 12. 環境影響情報

移動性：物理化学的性質からみて水域、土壌環境に移動しうる。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：水溶液にして中和してから排水処理を行うこと。

又は、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

汚染容器・包装：空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制：該当法令無し。

国内規制：該当法令無し。

特定の安全対策及び条件：輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等が無いことを確認する。

転倒、落下、破損が無いように積込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

## 15. 適用法令

該当法令無し。

## 16. その他の情報

引用文献

- |  |                |
|--|----------------|
| 1) 化審法 化学物質 改訂第4版                                | 化学工業日報社        |
| 2) 化学物質法規制検索システム                                 | 株式会社インターネットアラス |
| 3) 化学大辞典   | 共立出版           |
| 4) Lange's Handbook of Chemistry Twelfth Edition |                |

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いの際は十分に注意してください。